

アーティスト派遣報告書

2024年5月
認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
ケイスリー株式会社

1. プログラム概要

プログラムの基本情報

名称	アップさん	レアーズさん	いづはまスマイル食堂さん
プログラム 日程	<ul style="list-style-type: none"> 2023年12月21日 2023年12月25日 2024年2月15日 ※時間は全て16:00-18:00	<ul style="list-style-type: none"> 2023年12月26日 2023年12月27日 ※時間は全て15:00-17:00	<ul style="list-style-type: none"> 2023年8月6日 2023年10月22日 2023年11月12日 2023年12月17日 2024年1月6日 ※時間は全て13:00-14:30
場所	末吉公民館2階 (沖縄県那覇市)	大木公民館 (沖縄県中頭郡読谷村)	いづはまスマイル食堂 (大阪府堺市)
プログラム 参加者	小学生が最大15人 ※出たり入ったり毎回異なる	中学生中心に14人 ※事前に参加確認し概ね同じ子ども	回により異なるが主に小学生中心 ※出たり入ったり毎回異なる
参加 アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> 川崎馨子さん (打楽器) 平良優子さん (ピアノ) 	<ul style="list-style-type: none"> 川崎馨子さん (打楽器) 比嘉明美さん (ピアノ) 	<ul style="list-style-type: none"> 古橋果林さん (音楽ワークショップ・ファシリテーター) 伴菜生さん (フルート) 岩本未貴さん (ユーフォニアム) 竹村七音さん (ピアノ)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 音楽関連のプログラムは初めて開催 	<ul style="list-style-type: none"> 最近トーンチャイムを購入し、関心ある子で音楽部を作った 	<ul style="list-style-type: none"> アーティスト派遣 (音楽) の受け入れ2年目

沖縄エリア（アップさん／レアーズさん）

1. 関係者から、子ども向け音楽ワークショップ経験豊富な川崎さんをメインアーティストとして相談
2. 関係者及び那覇市社会福祉協議会等に相談し、対象のこども食堂を抽出・調整
3. 対象となるこども食堂運営者に川崎さんと一緒にニーズ等ヒアリング
4. 川崎さん中心に他のアーティストの調整、プログラム企画・準備などを実施

大阪エリア（いづはまスマイル食堂さん）

1. 堺市文化振興財団さんの「子ども食堂における芸術家派遣事業」でアーティスト派遣予定のこども食堂から、沖縄エリアと同ジャンル（音楽）を実施予定のいづはまスマイル食堂を抽出（他は制作と演劇）
2. プログラムの企画調整は、上記まちなかアートプロジェクト事業においてメインアーティストの古橋さんが実施
3. 堺市文化振興財団、アーティスト、こども食堂運営者で打合せ、企画・準備を実施
4. 効果検証も堺市文化振興財団から別事業者が実施

当日プログラムの流れ①

開催回	アップさん	レアーズさん
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニコンサート 合間に楽器や音のなり方の説明やミニクイズなど ・ 紙芝居（桃太郎） アーティストが様々な楽器で効果音鳴らす →子ども達が朗読し、効果音鳴らす ・ カホン制作 段ボールカホン作って、自分で好きな絵書く ・ ミニコンサート 最後に作ったカホンでみんなで演奏 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニコンサート 合間に楽器や音のなり方説明やミニクイズ等 ・ 紙芝居（桃太郎） アーティストが様々な楽器で効果音鳴らす ・ ロバの足制作 流木にベルやビーズ入りカプセル等を取り付けて自作の楽器を作る ・ ミニコンサート 最後に自作のロバの足を使ってみんなで演奏
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニコンサート マリンバ→大きさの異なる普通の食器で同じ曲を演奏など ※クリスマス当日で子ども集まりが悪かったため、2月15日にも開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニコンサート 合間に子ども達のマリンバ体験など ・ 紙芝居（桃太郎） 子ども達が朗読し、効果音鳴らす ・ トーンチャイム 一人一音担当し、みんなで楽譜に自分の担当する音に印をつけて演奏

当日プログラムの流れイメージ②

開催 回	いづはまスマイル食堂さん
5回目	<ul style="list-style-type: none">・ 自由に楽器に触れて遊ぶ 様々な楽器をグループ毎に置いておき、開始前から自由に楽器に触れて遊べるようにしている・ グループ毎に即興演奏 グループで好きな食堂メニューをテーマにした即興演奏づくり、メニューのイメージや色々な楽器の音を組み合わせグループ毎に発表・ ミニコンサート・ 輪になって歌って踊る みなで手を繋いで輪になり、歌って踊る

※全5回のうち、最終回のみ抜粋

参考：プログラムの雰囲気



2. アンケート結果

※アンケートの内容は「こども食堂への参加者の変化に関する調査」と同じものです。
詳細は「こども食堂への参加者の変化に関する調査事業 定量調査分析結果 最終報告書」
をご覧ください。

アンケート結果概要① 子ども

主な項目	アップさん	レアーズさん	いづはまスマイル食堂さん
こども食堂への参加回数	今日が初めて：20% 6回以上：80% (n=10)	6回以上：100% (n=12)	今日が初めて：12% 6回以上：58% (n=24)
普段、音楽や美術などの芸術文化に触れる機会	今日が初めて：30% (n=10)	今日が初めて：40% (n=12)	今日が初めて：11% (n=24)
音楽や美術が身近になり楽しくなった	81% (n=11)	100% (n=12)	100% (n=23)
元気になったりやさしい気持ちになった	90% (n=10)	91% (n=12)	100% (n=24)
友達や食堂の人となかよくなった	81% (n=10)	91% (n=12)	86% (n=23)
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・心がゆたかになり、音楽の楽しさを感じた。 ・楽器を自由に使える、色々な音が出せて楽しかったです。 ・がっきでじぶんなりの音楽のつくれるのがとてもたのしかった。 ・こんどは、ともだちをさそっていっしょにきたい。 ・今日の音楽部で思ったことは、けいこさんとあけみさんのミニコンサートが、とてもすごくてかんどうしました。 ・音楽のイベントがたのしかった。理由はいろいろながっきにさわったから。 ・初めてみるような楽器もさわることができ楽しかった ・かみしばいがうまくできたし、上手て言われて嬉しかったです。マリンバもしているきょくがえんそうしてたのでたのしかったです。 		

※いずれも初回時

アンケート結果概要② 保護者

主な項目	アップさん	レアーズさん	いづはまスマイル食堂さん
こども食堂への参加回数	6回以上：100% (n=2)	6回以上：100% (n=2)	6回以上：66% (n=3)
普段、音楽や美術などの芸術文化に触れる機会	今日が初めて：0% (n=1)	今日が初めて：50% (n=2)	今日が初めて：0% (n=3)
音楽や美術が身近になり楽しくなった	100% (n=2)	100% (n=2)	100% (n=3)
元気になったりやさしい気持ちになった	100% (n=2)	100% (n=2)	100% (n=3)
友達や食堂の人となかよくなった	100% (n=2)	100% (n=2)	100% (n=3)
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが楽しそうに楽器を作っていて、素晴らしいと思いました。 あまり見かけない楽器に触れたり、みんなで紙しばい、きらきら星を挑戦した事が良かったです。 楽しかったです。色々な人と話せてよかったです。ありがとうございました。 自宅にいるとストレスがたまってイライラしているので、今日参加出来て、ほっこり出来たような気がしました。 		

※いずれも初回時

アンケート結果集計結果① 回答者の特徴

- **62%**が女子 (56%)
- **26%**が2023年に入ってからこども食堂を利用し始めた (37%)
- **22%**が今回初めて音楽に触れた
- **73%**が6回以上こども食堂を利用している (55%)
- **69%**がこども食堂でお手伝いした経験がある (37%)
- **66%**がこども食堂がきっかけで話すようになった友だちがおり (50%)、
88%が大人と話すようになった (59%)

※いずれも初回アンケート結果より

※ () 内は「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体の割合 (詳細は「定量調査分析結果 最終報告書」を参照)

Q：つぎの場所は、今のあなたにとってほっとしたり、安心できたりする場所ですか？

- こども食堂：95% (89%)

Q：こども食堂で出会った人（友だちや大人など）について、つぎのような人はいますか？

- 何でも悩みを相談できる人がいる：67% (67%)
- 困った時に助けてくれる人がいる：91% (81%)
- 他の人に言えない本音を話せる人がいる：72% (59%)

Q：誰とでも仲良くなれる方だと思う：77% (72%)

Q：他人もある程度信頼できる感じる：73% (71%)

Q：人は信用できないと感じる：31% (33%)

※数値は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計割合

※（）内は「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体の割合（詳細は「定量調査分析結果 最終報告書」を参照）

追跡できた回答者のクロス集計

- 対象者

- ・ アップさんで、初回（1回目）と最終回（3回目）に参加し、追跡できた子どもが対象（1人）
- ・ いづはまスマイル食堂さんで、初回（1回目）と最終回（5回目）に参加し、追跡できた子どもが対象（6人）

- 表の見方

- ・ 上表は第1回と第2回両方の回答者の回答をクロス集計したもの
- ・ 各セルは第1回と第2回の回答の組み合わせに相当する人の数を表示
 - ・ 例：第1回の回答が「初めて」、第2回の回答が「初めて」の人の数は1人
- ・ 「合計」の列・行は各列・行の合計値を表示

		最終回				
		初めて	2-3回目	4-5回目	6回以上	合計
初回	初めて	1	1	2	1	5
	2-3回目	0	1	1	10	16
	4-5回目	0	サンプル		17	23
	6回以上	0	2	2	49	53
	合計	1	6	13	77	97

同じ学校・同じ学年

		第2回					
		0人	1人	2-3人	4-5人	6人以上	合計
第1回	0人	1	1				2
	1人		1				1
	2-3人		1		2		3
	4-5人	1					1
	6人以上						0
	合計	2	3	0	2	0	7

- **42%** (=3/7, 青セル/総数) が同じ学校の同じ学年で話すようになった人の数が増えた

- 参考：「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体では44%

同じ学校・違う学年

		第2回					
		0人	1人	2-3人	4-5人	6人以上	合計
第1回	0人		1		1		2
	1人						0
	2-3人	1		1			2
	4-5人				1		1
	6人以上	1					1
	合計	2	1	1	2	0	6

- **33%** (=2/6, 青セル/総数) が同じ学校の違う学年で話すようになった人の数が増えた
- 参考：「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体では34%

違う学校

		第2回					
		0人	1人	2-3人	4-5人	6人以上	合計
第1回	0人	3				1	4
	1人						0
	2-3人						0
	4-5人						0
	6人以上			1			1
	合計	3	0	1	0	1	5

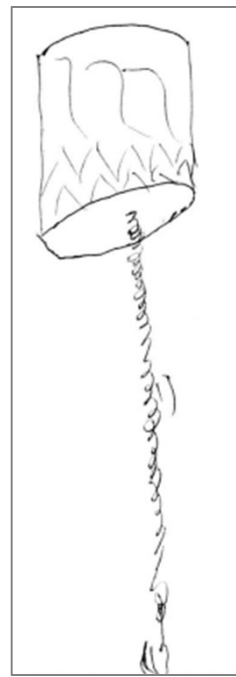
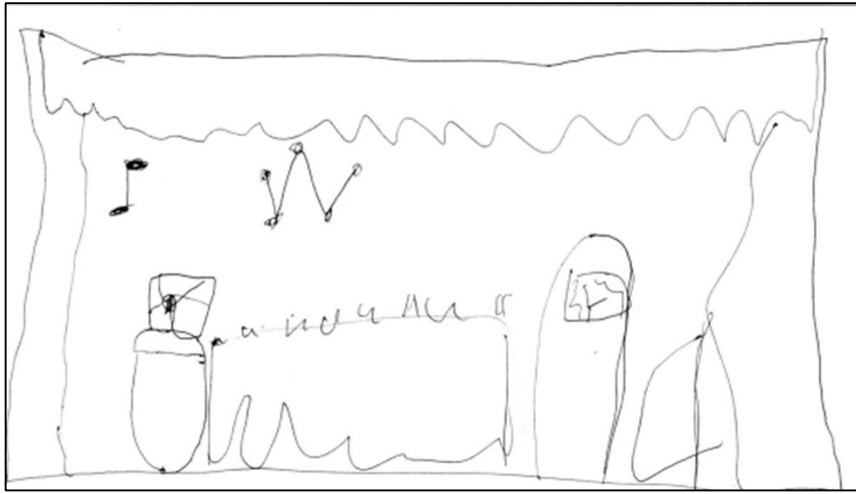
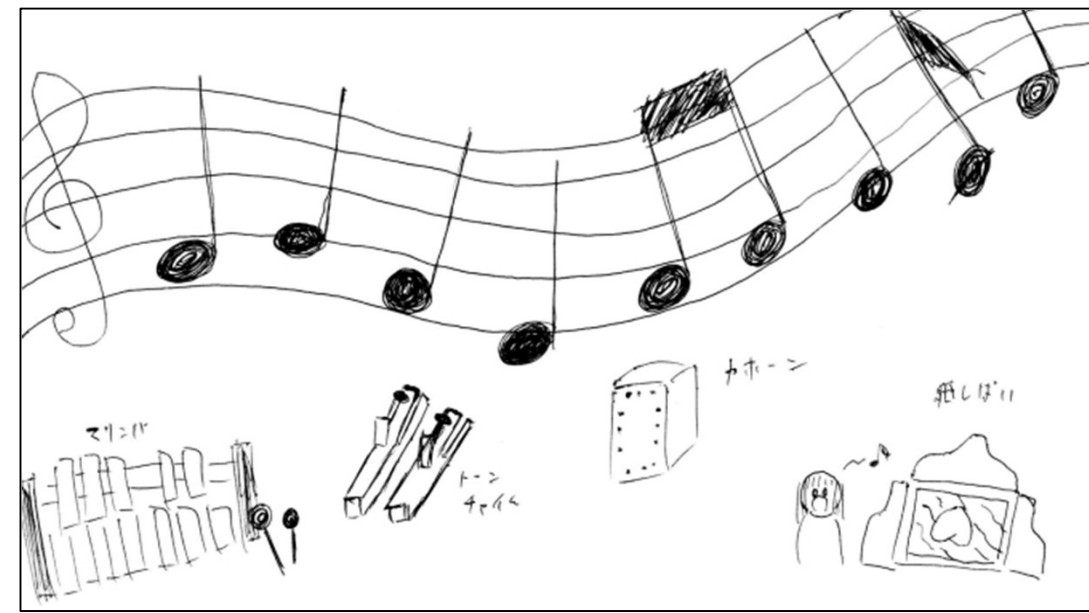
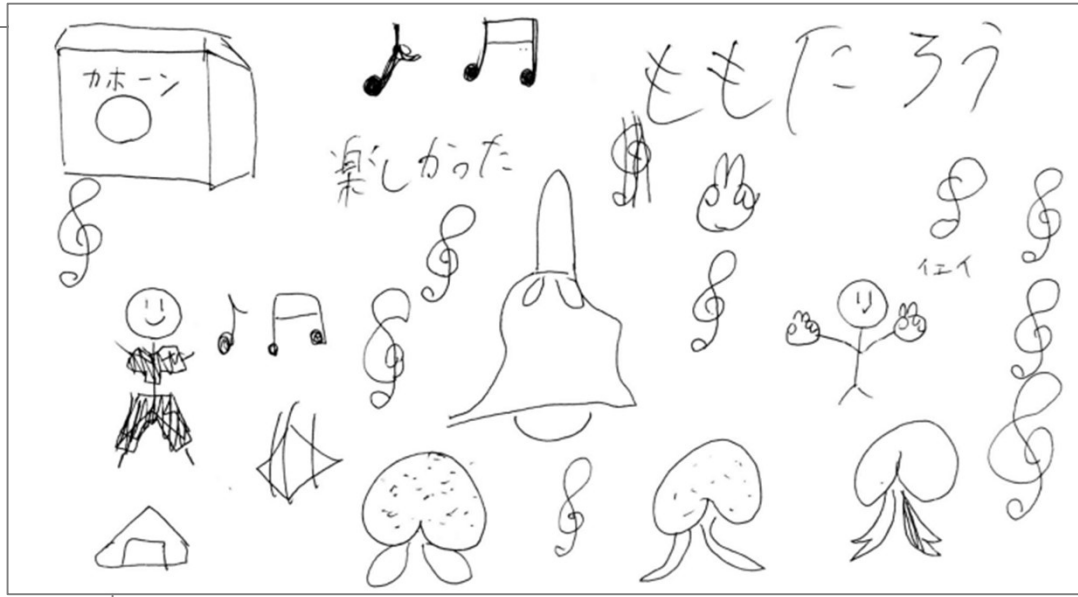
- **20%** (=1/5, 青セル/総数) が違う学校で話すようになった人の数が増えた
- 参考：「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体では21%

大人

		第2回					
		0人	1人	2-3人	4-5人	6人以上	合計
第1回	0人			1			1
	1人						0
	2-3人			2	1	1	4
	4-5人						0
	6人以上					1	1
	合計	0	0	3	1	2	6

- **50%** (=3/6, 青セル/総数) が話すようになった大人の数が増えた
- 参考：「こども食堂への参加者の変化に関する調査」の回答者全体では35%

参考：アンケート自由記述のイラスト



3. 考察

アーティスト派遣がもたらす価値

子ども達が安心できる自由な場で、アートを通じた参加者同士の交流が生まれる。そこでお互いの新たな一面の発見や関係性の変容により、自己肯定感の高まり、他者への信頼等が醸成される可能性がある。

- ・ **子どもが前向きになれる新たな一面を発見できる要素が豊富にある**
 - ・ アーティストならではの視点（新しい音の出し方、1つ1つの音のこだわり、音を合わせようとする姿勢、のらない時は休憩する等）から、普段と異なる面に気づきやすい
 - ・ 子ども達同士の関係性の変容（学年の上下とは関係なく得意な面で導いてあげる等）
 - ・ 子ども達の多様な一面の例：みんなで音を合わせる際他の子ができているかを気にする／普段は遊び感覚でもステージ発表では真剣に取り組む／当初興味なさそうにしていたけど自由に音に触れる時間は一番楽しそうにしてた／風呂場でおもちゃが落ちた時「どんっ、ちゃっ、ぽん」と音が鳴ったねと日常の音に新鮮な気付きがあった 等
- ・ **プログラムに触発されて、みんなのやりたいが引き出される**
 - ・ 学生ボランティアから読み聞かせ等をやりたいという声が出てきた
 - ・ 子ども達から紙芝居を自分達で作ろうという声が出てきた
 - ・ 舞台のイメージができ、子ども達から子ども主体の祭りで演奏したいという声が出てきた
 - ・ 運営スタッフのピアノ得意という面が発見され、プログラム終了後に電子ピアノが設置された
- ・ **継続的に実施することで、アーティストと子どもの関係性の質がより変化する**
 - ・ 単発でも変化はあるが、継続することにより、子どもたちが安心できる場所という前提が共有され、自発的な行動が生まれやすくなる
 - ・ 子どもが他の子どもたちをまとめる側になったり、音へのこだわりをすごく感じられるような子がいる等アーティストが子どもの変化に気付く機会も増え、距離感がさらに近くなる等、特別な存在のアーティストとはまた違う関係性になる（尊敬できる身近な第三者）
 - ・ 子どもの居場所とアーティストにより生み出される自由を尊重する空間が関係性の変容を促進し、子ども達からぽろっと本音や悩みが出やすくなる

※アーティスト自身にとっても、「観客との視線やノリの合わせ方、音を届ける時にどう気持ちをのせていけばいいか等」の声があり、本業に良い影響を与える可能性がある。

アーティスト派遣実施のポイント

- ・ **アーティスト派遣と親和性が高い場所**
 - ・ 子どもたちが自由であることを尊重している場所
- ・ **こども食堂での体験プログラムに適応可能性が高いアーティスト**
 - ・ 子どもたちと対等な立場でフラットに接することができる人
 - ・ 子どもたちの自由さを尊重できる人（楽器に触れることがOK／柔軟に対応できる等）
- ・ **アーティスト派遣の可能性のある分野**
 - ・ 各種音楽、制作・モノづくり、演劇、コンテンポラリーダンスなど、子どもの遊びや創造性を刺激する余白のあるプログラムであれば、分野を問わず幅広い可能性がある
- ・ **プログラム企画・実施のポイント（目的によっても異なる）**
 - ・ アーティストが、普段の子ども達の特徴や運営者のニーズをよく聞く
 - ・ 子ども達がアートを通して他者と関わり合える機会を作る
 - ・ アーティストが、子どもと一緒に何ができるかを考える（子どもは何ができるかではない）
 - ・ 自由な空間づくりに運営者やアーティスト等関係者が協力する
 - ・ 運営者やアーティストが、子どもの変化や普段と異なる面に関心を持つ
 - ・ その他可能であれば
 - ・ 複数回継続的に実施する
 - ・ 毎回参加者が異なる場合、1回の参加でも完結するプログラムにする
 - ・ 子ども達にとって特別な体験（発表等）を盛り込む
 - ・ 身近なものを取り入れて、日常でも気づきがあるようにする